

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	19271-1	事業名	道徳・人権教育推進事業	部名	教育委員会事務局
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	室名	教育研究室	財	会計 一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務	款	教育費	
	施策の方向	03:学力・体力の向上と豊かな心を育む教育の推進	科	目	教育研究費	
	戦略プロジェクト		目	目	教育研究費	

② 目的・概要	対象	市内小中学校
	目的・概要	感性や情緒などが育まれる小中学校の時期に、道徳教育や様々な体験活動・学習を通して、児童生徒の心の発達を促し、規範意識の醸成や問題行動の未然防止に取り組む。また、推進中学校区において地域と連携しながら人権学習に取り組み、子どもたちの自尊感情や学習意欲の向上を図る。

			24年度	25年度	26年度
③ 指標	① 活動	名称	道徳教育に係る外部講師の派遣と研修会の実施	計画値	
		補足	・推進校(中部中学校)の公開授業研究会(1回) ・道徳教育担当者研修会(2回) ・道徳教育に係る外部講師派遣2回(東小、川崎小)	実績値	5
		単位		回	回
	② 活動	名称	人権教育に関わる講演会・学習会等の実施	計画値	
		補足		実績値	11
		単位		回	回
④ 成果	① 成果	名称	学習意欲に関する児童意識調査	計画値	
		補足	「授業中に、」先生の質問に答えたり、自分の考えや意見を言うのは好き」と答えた児童の割合	実績値	65.6
		単位		%	%

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績	事業費	計画額		予算額		決算額		
		事業費		1,580	1,543	総人件費 ①	296	平均給与額×③
		国庫支出金				一般職員人件費 ②	296	
		県支出金		1,370	1,370	所要人員 ③	0.04	
		地方債				臨時職員人件費 ④		
		その他				受益者負担額 ⑤	0	
		一般財源		210	173	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		再掲	翌年度への繰越額					
			前年度からの繰越額					
			総人件費		①	296		
	総コスト		⑥	1,839				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	・研修会や推進校の公開授業研究会等において、道徳の時間の授業づくりのあり方や人権教育の進め方について詳しく学ぶことができた。また、愛知教育大学の教授を、小学校2校に派遣し授業実践研修を行うことで、各校の実情に合わせた指導を受けることができた。 ・道徳教育実践推進校(中部中学校)と人権教育研究指定校(井田川小学校)が、公開授業研究会を行うなど学校として実践的研究を進めるとともに、市内に取り組みを発信することで亀山市全体の道徳及び人権教育の向上に成果があった。	総合判定
	【反省点・課題】	・道徳の教科化に向けて、道徳推進教師だけでなく教職員全体の道徳教育への理解と指導力の向上が急務である。 ・各中学校区内での教職員の連携・情報交換を密にし、さらに効果的な人権教育の取組を行い、全ての子どもたちの自尊感情を高める必要がある。	A 順調に進んだ
	【改善の方向性】	・「道徳教育研修会」を小中学校を会場にして開催することで、参加者の拡充を図る。 ・外部講師の派遣が、非常に効果があった。どのような授業が道徳の良い授業なのかを具体的に知るには、個々が学ぶだけでなく良いモデル的な実践を目の当たりにし授業のイメージをつくる必要がある。引き続き、良い講師を探し、派遣していくことにより、道徳教育の実践力向上を図っていく。 ・各中学校区内での教職員の連携・情報交換を密にし、さらに効果的な人権教育の取組を行っていく。	
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 教育研究室長 伊達 弘